

「巻頭特集」

日本福祉大学 東海キャンパス

地域から学ぶ
「ふくし」の心

日本の福祉教育における草分けとして、多くの卒業生を輩出してきた日本福祉大学。2015年、東海キャンパスが太田川駅前誕生しました。経済・国際福祉開発・看護の3学部が設置され、まちづくりや地元企業から学ぶ産学官連携を重視。学生はキャンパスを飛び出して地域と関わり、人々の暮らしを豊かにする「ふくし」の心を学んでいます。



コミュニケーション能力や自主性を形成する「伝える力」。自身の将来を見据えた学び方の「見据える力」。行動力など総合的な力を意味する「関わる力」。日本福祉大学生としての意識「共感する力」。大学では、学部や学科に関わらず全員が身に付けてほしい4つの力として重視しています



日本の社会を支える福祉教育
地域で取り組み創立65周年

「幸福」を意味する福祉。日本福祉大学は「ふくしの総合大学」として、社会福祉・医療・経済・環境・スポーツ・教育など、あらゆる分野で万人の福祉に貢献できる人材を育成しています。

はじまりは1953年。名古屋市中区社会事業短期大学として開設し、1957年に日本福祉大学として改組しました。1983年には知多半島美浜町に総合移転。その後、半田市にも展開し、2015年には第4のキャンパスとして太田川駅前に東海キャンパスを開設しました。

「経済・国際福祉開発・看護は、地域との連携が重要な3学部。東海市に大学を構えた理由には、アクセスの良さもありました」とほほ笑むのは、齋藤真左樹副学長。東海市の太田川駅前再開発事業や公立西知多総合病院の開設に合わせ、東海市での展開を検討。経済の拠点である名古屋市や、国際福祉開発学部が多文化共生を感じられる中部国際空港への利便性などから、3学部の東海キャンパス設置が決まりました。

キャンパス前に広がるのは、大田公園。市の太田川駅前再開発事業の一環で整備され、人々の憩いの場となっています。また、キャンパス外周には扉や壁を作らず、食堂と図書館を地域に開放。学生と市民の新たな交流の場となつています。「環境に恵まれた立地です。駅前にはぎやかで、地域活動が活発。実習やフィールドワーク

海外研修では
現地学生と議論！
世界の現状を自分の
目で確かめられます

実際に患者さんと
関わり、現場から
看護学を学んでいます

左から、看護学部2年・寺本瑠莉奈さん、経済学部4年・竹内智春さん、国際福祉開発学部3年・加藤未紗さん



活動先の地元企業も近隣にあります。まち全体がキャンパスなのだと感じています」と笑顔を見せます。

大学ならではのカリキュラム
地域から得る貴重な経験

4年前に新設された看護学部では、「ふくしの総合大学」ならではの教育プログラムを実施しています。高齢化を背景に地域包括ケアの中核として看護職へのニーズが高まっています。保健・医療・福祉など多職種との連携が必須であり、大学内には社会福祉士などの養成課程があるため、多職種連携の力を育成できる環境があります。実習では学生の半数が公立西知多総合病院へ足を運び、多くの学



日本福祉大学 東海キャンパス 副学長

齋藤真左樹さん

26年、教育現場に携わり学生を見守ってきました。今後も学生の地域活動をより活発にしていきたいと望みます



(左)看護学部の主な実習先は、キャンパスから1時間圏内の病院。地域連携に優れたカリキュラムで現場を知り、技術だけでなく看護職の在り方についても学びます (右)県内の人気店「パンのトラ」とのコラボレーションは、経済学部にとって毎年恒例。2017年度は学生のアイデアから2点が商品化されました

生が内定。地域から現場を学び、人々に寄り添う看護の心を育んでいます。人々が幸福に暮らすことのできる豊かな社会の実現を目指すのは、経済学部。地元企業や行政と連携し、積極的にまちづくりへ携わっています。東海市デジタルマッププロジェクトでは、学生が自転車です市内を散策。自らの足で店舗やスポットの情報を集め、スマートフォン用地図アプリケーションで発信しています。特色ある講義は3年次開講の経営者講座。経営者を講師に招き、経営哲学や経営戦略の要点を学びます。鈴木淳雄東海市長も教壇に立ち、経営者の視点で自治体の経営について講義しました。

国際福祉開発学部では、異文化コミュニケーションに優れた人材を育成。多文化共生を学び、国内だけでなく、世界での活躍も見据えています。1年間を4学期で学ぶ、クォーター制カリキュラムを導入しています。1科目を約2カ月で履修できるため、2年次11月中旬から3年次5月までは学生が能動的に学べる学習方法「アクティブラーニング期間」として、多くの学生が留学や国内外研修で視野を広げています。また、中部国際空港内に日本福祉大学サテライトキャンパスを開設。空港職員による講義を受け、インターンシップや通訳ボランティアもしています。

学部や国籍を超えた交流
将来に役立つ4年間を

キャンパス内には3学部のほか、日本語教育センター・看護実践研究センター・まちづくり研究センターがある



国際福祉開発学部は中部国際空港とも連携。講義では空港職員が仕事のやりがいや理想の人物像などを話します

4年間で何を学んだのか、しっかりと人に伝えられるように
大学生生活を将来の糧にしてほしいと心から願っています

ります。なかでも日本語教育センターは、留学生への日本語・日本文化教育を支援。近年はベトナムやネパールからの留学生が多く、在校生との交流も活発です。海外に興味を持つ看護学部生や、ふくし社会を学ぶ経済学部生、日本社会を学ぶ留学生など、互いに影響。キャンパス内に広い視野と多様な考えが根付いています。

「学生には大学で何を学ぶのか意識してほしい」と熱を込める齋藤副学長。充実した地域密着のカリキュ

太田川駅から徒歩5分という好立地に構える東海キャンパス。全長140メートルの単棟型で、経済・国際福祉開発・看護の3学部生が学んでいます



information

日本福祉大学
東海キャンパス
東海市大田町川南新田229
TEL0562(39)3811 (代表)